

<p>科目名：口腔外科学＜含、麻酔学＞</p>		<p>必修</p>	<p>1単位(45時間)</p>	
<p>(Oral Surgery)</p>				
<p>履修年次/時期：2年次 前期</p>		<p>授業形態：講義</p>		
<p>主担当教員：水谷 成孝</p> <p>実務経験：臨床経験43年、口腔外科専門医の資格をもち所属する総合病院で全身麻酔手術 や臨床研修指導医の資格から歯科研修医の指導もを行い、教育、臨床経験も豊富であることから、教科書上の文章の説明のみならず、実際の臨床に合う経験を生かした講義を行い、卒後直ちに臨床に入れるスキルを身に付けることを目的とする。</p> <p>担当教員名：河合 良明</p>				
<p>学修目的</p>	<p>口腔外科は、ほとんどすべての基礎歯科医学、臨床歯科医学に立脚した学問である。したがって、まずこれらの基本的な知識の十分な理解と習得を目指し、その上で口腔外科としての専門知識を学ぶ。同時に、医療を受ける側の心理についての考えも深化させたい。</p> <p>関連するCP： CP2,CP3,CP6</p> <p>科目No. S2C09H10</p>			
<p>この科目が目的としているDP</p>	<p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p>	<p>(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</p>	-	
		<p>(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</p>	-	
	<p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p>	<p>(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</p>	-	
		<p>(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</p>	◎	
		<p>(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。</p>	○	
	<p>3. 口腔の健康支援を通し全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。</p>	<p>(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</p>	-	
		<p>(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。</p>	-	
		<p>(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</p>	○	
	<p>◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP</p>			
	<p>到達目標</p>	<p>口腔外科学は「外科」とはなっているが、粘膜疾患、症候群、感染症などを扱う「内科」、扁平苔癬、帯状疱疹などを扱う「皮膚科」、顎関節症、顎変形症などを扱う「形成外科、整形外科」、上顎洞疾患、唾液腺疾患などを扱う「耳鼻科」、三叉神経痛、舌痛症などを扱う「精神、神経科」と多岐に渡った領域と関連している。また、特に外科治療を行うにあたりその処置の可否は適応症や禁忌症、妊娠の有無、循環動態、現在の投薬内容などにより規制され、「産婦人科」「眼科」とも関連する場合がある。学修目的にも述べたようにすべての医科に立脚した学問であることから、本学科を習得することは、単位を取り、国家試験に合格することを最終目的とするのではなく、将来、衛生士として臨床の場で活躍する時、また、一般生活をする上でも必要な知識と考える。</p> <p>講義は下記に内容に分類される。</p> <p>①口腔外科の基礎知識を理解する。 これは衛生士として直接関与することは少ない場合が多い疾患について、知識としてマスターする。</p> <p>②歯科医師の介助、器具の準備、滅菌消毒を行う。 これは歯科医師処置時の補佐を行う。器具の準備や介助には処置内容の十分な理解が必要であり、学習をする。</p> <p>③衛生士が主体、主導となって治療を行う。 最近保険に導入されてきた「周術期」治療は口腔衛生指導の場合が多く、歯科衛生士が主として治療を行う。</p> <p>以上3項目の理解、習得を到達目標とする。口腔内に生じる「う蝕」と「歯周病」以外の、ほとんどすべての疾患について学習し、診査、診断、処置法などを学ぶ。スライド、PC、ビデオなどを適宜使用して、単なる知識の羅列にとどまらない、立体的、実践的な、常に臨床を念頭に置いた内容を目指す。医療の現場からのさまざまなエピソードも適宜紹介し、医療従事者としての心のあり方も、ともに模索してゆきたい。口腔内に生じる「う蝕」と「歯周病」以外の、ほとんどすべての疾患について学習し、診査、診断、処置法などを学ぶ。スライド、PC、ビデオなどを適宜使用して、単なる知識の羅列にとどまらない、立体的、実践的な、常に臨床を念頭に置いた内容を目指す。医療の現場からのさまざまなエピソードも適宜紹介し、医療従事者としての心のあり方も、ともに模索してゆきたい。</p>		
<p>授業概要</p>	<p>う蝕と辺縁性歯周炎以外のほとんどすべての口腔疾患について、症状・診断・治療法などを学びつつ、医療の現場に携わる者としての自覚と誇りを持ち得るよう、臨床例を通して、生命の尊厳について討議する。</p>			
<p>評価方法</p>	<p>本試験(100点満点：マークシート形式、一部記述あり)(90%)、講義時小試験(10%)により評価する。 試験に対するフィードバックは掲示板で行う。</p>			
<p>予習・復習時間</p>	<p>【予習】0.5時間 【復習】0.5時間</p>			
<p>教科書</p>	<p>顎・口腔粘膜疾患「口腔外科・歯科麻酔」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社</p>			
<p>参考書</p>	<p>歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 医歯薬出版株式会社 看護師のための最新医学講座 第23巻 歯科口腔系疾患</p>			

オフィスアワー
連絡先

木曜日9:00?17:00 不在の日程が多いので事前にメールをいただくと確実です。
mizudent@sa.netyou.jp(水谷)
omsi.kawai@kkh.biglobe.ne.jp(河合)

実施回	第1回	実施日	2026/04/09	時限	4	班	
授業計画	『口腔外科の概要』口腔外科疾患と周術期管理』 ①顎・口腔の解剖、組織、生理、加齢変化を知り役割を説明できる。 ②口腔外科診療における歯科衛生士の役割を説明できる。 ③術前・術後のセルフケアの支援の必要性を説明できる。 ④術後に口腔機能障害が伴った場合の口腔リハビリテーションの必要性を説明できる。 ⑤放射線治療の副作用と術後の不快事項の出現について説明できる。	予習	教科書 1-8、261-270				
		復習	加齢による顎口腔領域の変化を把握。歯科衛生士の役割の理解。周術期の治療を理解。 放射線性口内炎とその対策、治療法について理解する。				
		キーワード	歯科衛生士、周術期、放射線性口内炎				
授業形態	講義	担当	水谷				

実施回	第2回	実施日	2026/04/16	時限	4	班	
授業計画	『拔牙および観血的処置(1)』 ①拔牙の適応症と禁忌症を説明できる。 ②埋伏拔牙術の手順が説明できる。	予習	教科書 139-140				
		復習	拔牙処置を理解し、適応症、禁忌症を復習する。				
		キーワード	拔牙の適応症、拔牙の禁忌症				
授業形態	講義	担当	河合				

実施回	第3回	実施日	2026/04/23	時限	4	班	
授業計画	『拔牙および観血的処置(2)』 ①各種類の拔牙器具と操作の説明ができる。 ②拔牙後の注意事項の説明ができる。 ③拔牙に伴う偶発症を説明できる。	予習	教科書 141-151				
		復習	拔牙時使用する器具を理解する。 拔牙後の注意事項を確認し、起りうる偶発症を復習する。				
		キーワード	拔牙器具、拔牙後の注意事項、拔牙時の偶発症				
授業形態	講義	担当	河合				

実施回	第4回	実施日	2026/04/30	時限	4	班	
授業計画	『先天異常と発育異常』 ①歯や小帯の異常による障害を説明できる。 ②口唇裂・口蓋裂の発生頻度・発症原因・治療方法について説明できる。 ③発育異常について種類を列挙できる。	予習	教科書 19-33				
		復習	顎口腔領域の奇形について復習する。 口唇口蓋裂について復習する。 顎の発育異常について説明できるようにする。				
		キーワード	舌小帯強直症、口唇口蓋裂、顎変形症				
授業形態	講義	担当	水谷				

実施回	第5回	実施日	2026/05/07	時限	4	班	
授業計画	『外傷』 ①軟組織損傷を分類し説明ができる。 ②歯の損傷を分類し説明ができる。 ③顎骨骨折を分類し説明ができる。	予習	教科書 34-44				
		復習	軟組織損傷の治療過程を理解する。 歯の破折部位による治療方針、脱臼歯の保存方法を復習する。 上下顎骨折の好発部位を知り、治療法を復習する。				
		キーワード	軟組織損傷、歯牙破折、顎骨骨折、Le Fort分類				
授業形態	講義	担当	水谷				

実施回	第6回	実施日	2026/05/14	時限	4	班	
授業計画	『神経疾患』『顎関節疾患』 ①顎口腔の知覚を司る神経を説明できる。 ②顎口腔の運動を司る神経を説明できる。 ③顎口腔の神経疾患の臨床症状と治療方法を説明できる。 ④顎関節症の分類が説明できる。 ⑤顎関節症・顎関節脱臼の治療法が説明できる。	予習	教科書 122-129、45-49				
		復習	顎口腔領域の解剖を復習しておく。 顎口腔領域の神経疾患を列挙できるようにする。 顎関節症について原因、治療を含め説明できるようにする。				
		キーワード	三叉神経痛、顎関節症、習慣性顎関節脱臼				
授業形態	講義	担当	河合				

実施回	第7回	実施日	2026/05/21	時限	4	班	
授業計画	『粘膜疾患』『血液疾患』 ①口腔にみられる粘膜疾患を説明できる。 ②口腔粘膜疾患をとまなう症候群を列挙できる。 ③口腔粘膜に症状を示す血液疾患を説明できる。	予習	教科書 50-69、76-79、70-79				
		復習	粘膜疾患を分類し説明できるようにする。 口腔領域に症状がでる症候群を列挙できるようにする。 原因別に血液疾患を分類できるように復習する。				

		キーワード	扁平苔癬、シェーグレン症候群、出血性素因		
授業形態	講義	担当	水谷		
実施回	第8回	実施日	2026/05/28	時限	4
授業計画	『腫瘍(1)』 ①腫瘍とは何か説明できる。 ②良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 ③腫瘍類似疾患について説明できる。	予習	教科書 98-104、107-111		
		復習	腫瘍とは、定義について説明できるようにする。 良性、悪性の違いについて説明できるようにする。 腫瘍類似疾患とは何か、復習しておく。		
		キーワード	良性腫瘍、悪性腫瘍、エプーリス		
授業形態	講義	担当	水谷		
実施回	第9回	実施日	2026/06/04	時限	4
授業計画	『腫瘍(2)』 ①腫瘍の分類を説明できる。 ②腫瘍に対する治療法が説明できる。 ③術後の機能障害に対する処置を説明できる。	予習	教科書 105-107		
		復習	悪性腫瘍の治療法を分類し、説明できるようにする。 治療後の機能障害について復習しておく。		
		キーワード	癌腫、肉腫、手術療法、化学療法、放射線療法		
授業形態	講義	担当	水谷		
実施回	第10回	実施日	2026/06/11	時限	4
授業計画	『炎症』 ①炎症とは何か説明ができる。 ②顎骨にみられる炎症性疾患の臨床症状を説明できる。 ③消炎処置の内容を説明できる。	予習	教科書 80-88		
		復習	炎症とは何か。 炎症の臨床症状を説明できるようにする。 治療としての外科療法、薬物療法を復習する。		
		キーワード	炎症、ドレーナージ、抗生剤		
授業形態	講義	担当	河合		
実施回	第11回	実施日	2026/06/18	時限	4
授業計画	『嚢胞』 ①嚢胞の定義を説明できる。 ②嚢胞の分類が説明できる。 ③各嚢胞に対する治療法を説明できる。 『唾液腺疾患』 ①唾液腺の種類を説明できる。 ②唾液腺の炎症性疾患の種類を説明できる。 ③唾液腺腫瘍の好発部位と主なものを説明できる。	予習	教科書 89-97、112-121		
		復習	嚢胞の定義と治療法が説明できるようにする。 解剖学的に唾液腺を説明できるように復習する。 唾液腺疾患が列挙できるようにする。		
		キーワード	歯根嚢胞、歯根端切除術、開窓療法、大唾液腺、小唾液腺、多形腺腫		
授業形態	講義	担当	水谷		
実施回	第12回	実施日	2026/06/25	時限	4
授業計画	『麻酔』全身管理とモニタリング、救命救急処置 ①歯科治療における歯科麻酔の役割を説明できる。 ②全身状態の評価に必要な基本的事項を説明できる。 ③バイタルサインについて説明できる。 ④局所麻酔法について説明できる。 ⑤静脈内鎮静法について説明できる。 ⑥全身麻酔法について説明できる。	予習	教科書 174-205		
		復習	歯科麻酔の役割を理解しておく。 バイタルサインとは何かを整理しておく。 各種麻酔法、鎮静法について整理して理解しておく。		
		キーワード	歯科麻酔、血管収縮剤、局所麻酔、全身麻酔、静脈内鎮静法、バイタルサイン		
授業形態	講義	担当	水谷		
実施回	第13回	実施日	2026/07/02	時限	4
授業計画	『救命救急処置』 ①歯科診療で問題になる基礎疾患と歯科治療時の注意点を説明できる。 ②歯科治療時の全身的偶発症の概要を説明できる。 ③一次救命処置について説明できる。 ④二次救命処置について説明できる。	予習	教科書 206-215		
		復習	全身的基礎疾患を分類し、理解しておく。 歯科治療時時の偶発症を復習しておく。 一次、二次救命について整理し、すぐ対応できるよう理解しておく。		
		キーワード	基礎疾患、偶発症、BLS、ACLS、AED		
授業形態	講義	担当	水谷		
実施回	第14回	実施日	2026/07/09	時限	4

授業計画	『インプラント手術、その他』 ①インプラント治療とはなにかについて説明できる。 ②インプラント治療の適応症、禁忌症が説明できる。 ③インプラント治療の手順、各種器具の操作できる。	予習	教科書 161-163、250-252
		復習	インプラントとは何か、長所、短所を含め説明できるようにする。 インプラント治療に必要な器具を準備できるように復習しておく。
		キーワード	インプラント
授業形態	講義	担当	河合

実施回	第15回	実施日	2026/07/16	時限	4	班	
授業計画	『口腔外科・歯科麻酔処置における衛生士業務』 ①得られた診断をもとに、患者背景を考慮して治療方針が決定することを理解する。 ②診察と検査の目的を理解し基本、順序、記録法を説明できる。 ③口腔外科小手術を理解し準備と手術順序を説明できる。 ④清潔と不潔を理解し、院内感染防止対策を説明できる。	予習	教科書 130-173、218-260、271-273				
		復習	カルテの記載方法を理解する。 臨床検査の数値の意味を整理し、復習しておく。 口腔外科小手術の内容を理解し、器具の準備ができるようにする。				
		キーワード	SOAP、臨床検査、滅菌、消毒				
授業形態	講義	担当	水谷				